

株式会社ファスマックが新たに 「Agripalette アグリパレット」シリーズ 2 品を販売開始 発売開始日：6月14日(水)予定

ニッポングループの株式会社ファスマック(代表取締役社長:布藤 聡 本社:神奈川県厚木市)は、イムノクロマト法により、感染が疑われる植物の葉から病原体を検出するキット「Agripalette アグリパレット(植物病原検出キット)」シリーズ 2 品の販売を開始いたします。

本商品の発売は、2023年6月14日(水)を予定しております。

作物栽培において、各種植物病の発生による品質や収量の低下が問題となっています。これら病害に対しては、早期に診断し対策を講じる必要がありますが、生理障害との区別が難しいため、感染の有無を簡易に検出できるキットのニーズが高まっています。

本商品は、植物病原体に対する抗体を用いた金コロイド免疫イムノクロマト法により、感染の疑われる葉から病原体を検出するキットです。早期診断が可能となり、発病株の抜き取りや媒介虫の防除等により本病のまん延を防止できます。



商品名	内容量	価格(税別)
Agripalette アグリパレット(植物病原検出キット) トマトモザイクウイルス (Tomato mosaic virus : ToMV)	10 回用	15,000 円
Agripalette アグリパレット(植物病原検出キット) キュウリモザイクウイルス (Cucumber mosaic virus : CMV)	10 回用	15,000 円

<株式会社ファスマックについて>

株式会社ファスマックは2001年に設立され、オリゴヌクレオチド合成サービス、遺伝子合成サービス、DNA シーケンシングサービス、食品検査サービス、遺伝子検査薬・キットを含む、食品検査やバイオテクノロジー商品・サービスを提供しています。

※2 ページ目に続きます。

<本件に関する問い合わせ先>

<商品や技術に関すること>

株式会社ファスマック 遺伝子検査事業部
〒243-0041 神奈川県厚木市緑ヶ丘 5-1-3
TEL : 046-295-8787 FAX : 046-294-3738

<その他・報道に関すること>

株式会社ニッポン 広報部
担当：岡部春那
〒102-0083 東京都千代田区麴町四丁目 8 番地
TEL : 03-3511-5307 FAX : 03-3237-3546

(ご参考)

<Agripalette アグリパレット(植物病原検出キット)について>

「Agripalette アグリパレット(植物病原検出キット)」シリーズは、2019年12月から製造販売を開始した感染の疑われる部位(葉、花など)から病原体を検出するキットです。今回、トマトモザイクウイルスとキュウリモザイクウイルスの検出キット2品が追加されました。

■商品情報

商品名	内容量	価格(税別)
<新商品> Agripalette アグリパレット(植物病原検出キット) トマトモザイクウイルス (Tomato mosaic virus : ToMV)	10回用	15,000円
<新商品> Agripalette アグリパレット(植物病原検出キット) キュウリモザイクウイルス (Cucumber mosaic virus : CMV)	10回用	15,000円
Agripalette アグリパレット(植物病原検出キット) トマト黄化葉巻ウイルス (Tomato yellow leaf curl virus : TYLCV)	10回用	15,000円
Agripalette アグリパレット(植物病原検出キット) ウリ科野菜果実汚斑細菌病菌 (Acidovorax avenae subsp. citrulli : Aac)	10回用	15,000円
Agripalette アグリパレット(植物病原検出キット) メロン黄化えそウイルス (Melon yellow spot virus : MYSV)	10回用	15,000円
Agripalette アグリパレット(植物病原検出キット) パパイヤ輪点ウイルス (Papaya ringspot virus : PRSV)	10回用	15,000円
Agripalette アグリパレット(植物病原検出キット) ウリ類退緑黄化ウイルス (Cucurbit chlorotic yellows virus : CCYV)	10回用	15,000円

<検査フロー>

● Step1 : 検査試料の採取

検査試料の採取前にはよく手を洗い、はさみなどの器具の消毒をしてください。

また、異なる株から採取を行うときは検査試料ごとに器具を交換してください。

本葉または子葉からモザイク症状を現した部分を約0.2g(約6cm²)採取します。採取した葉は摩砕袋に入れてください。

● Step2 : 検査試料の調製

取扱説明書に沿って反応液を調製します。

● Step3 : 結果の判定

検査試料と抽出液の摩砕液をテストストリップに滴下し、以下の赤紫色ラインのパターンをもとに結果を判定します。

- ・ 陽性…判定窓の赤紫色ラインが2本(コントロールライン(T1)、テストライン(T2))
 - ・ 陰性…判定窓の赤紫色ラインが1本(コントロールライン(T1))
 - ・ 再検査…判定窓の赤紫色ラインが1本(テストライン(T2))または、ラインが出現しない
- ※再検査の場合は、新しいテストストリップで再度検査を行なってください。

